

プレゼンテーション

学習に先立って

水谷正大
mizutani@meiji.ac.jp

プレゼンテーションの目的

多数の聞き手の
理解・了解を得るために行
うパフォーマンス

プレゼンテーションの形態

主に一人対**多人数**

直接的コミュニケーション

匿名性はなく**面前**で

必ず決められた**時間内**で行い

その場での**質疑応答**もある

プレゼンテーションする状況

- 報告、発表
 - 講演、演説
 - 業務報告
 - 研究発表
- 売り込み、獲得競争
 - 各種コンペ（プロジェクト、誘致）
 - 企画会議、商品開発プラン説明
 - 顧客獲得、販売

プレゼンテーションの方法

対面による肉体からの発話と身振りに加えて

文字や表

テキスト

画像

動画・音声

までも動員してもよい

ソフトウェアにより
スライドとして統合

プレゼン資料の配置形態

人が視認して認知・理解範囲は有限である

そのために資料を分節化して配置して提示

その方法は複数あり得る：

- スライド
-矩形に分節化した資料を綴じて、めくりながら提示する
- 無限平面
-資料を床一面に配置し、各部分をズームングして分節化し拡大縮小して提示する

ソフトウェアによる資料作成

- スライド作成ソフトウェア
 - PowerPoint (for Win + Mac)
 - OpenOffice (for Win + Mac)
 - Keynote (for Mac)
 - TeX+Adobe Reader**によるスライドPDF
- Webページ(スクロール)
 - HTML+CSS
- Prezi**(無限平面)

Preziって？

<http://prezi.com/recyyolzxm3e/how-to-create-a-great-prezi/>

